

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

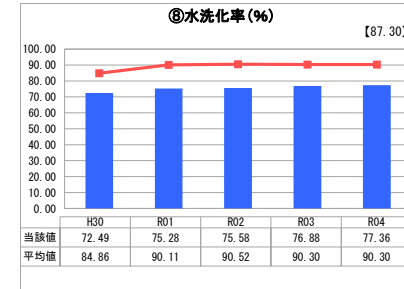
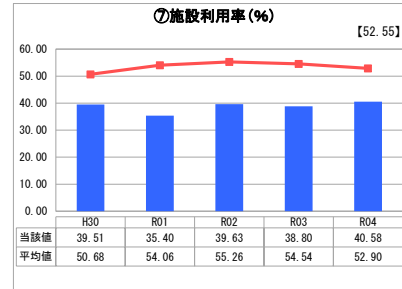
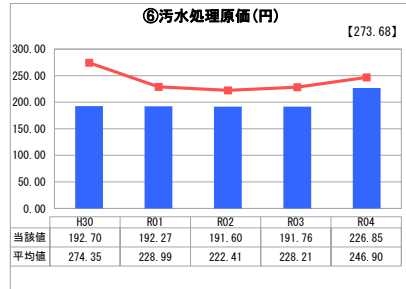
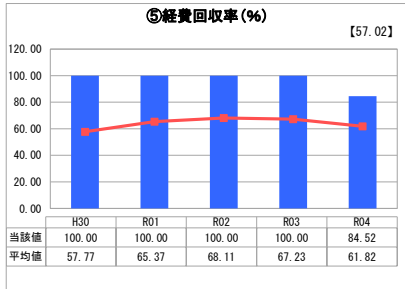
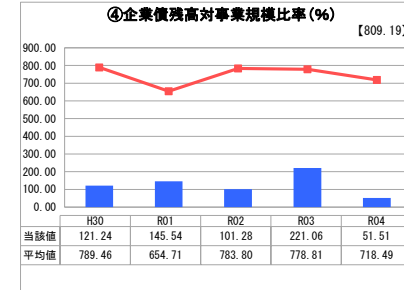
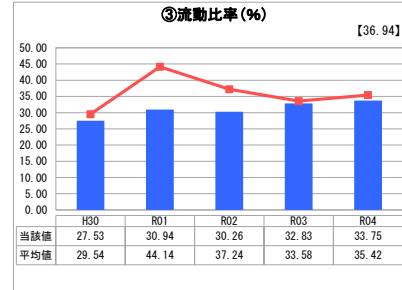
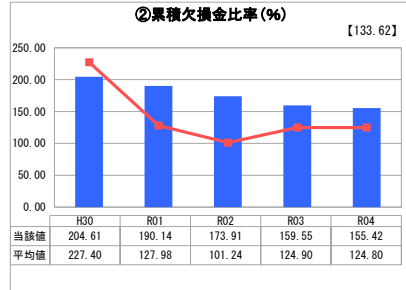
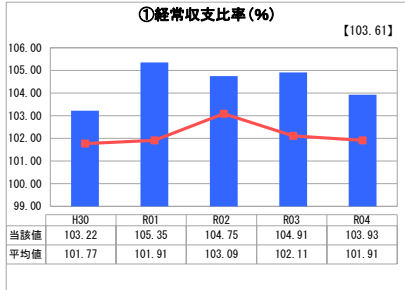
青森県 藤崎町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	56.47	48.69	91.75	3,626

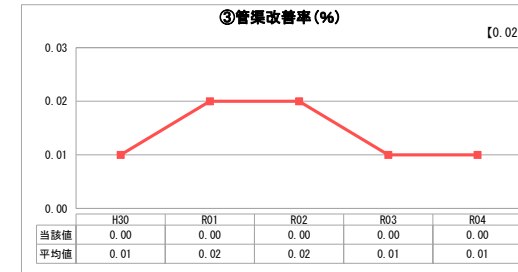
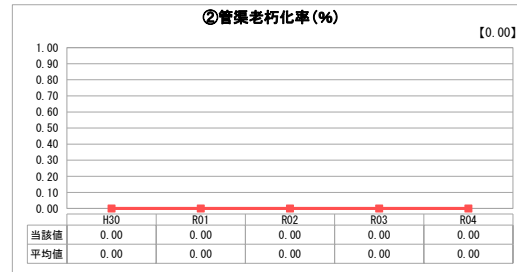
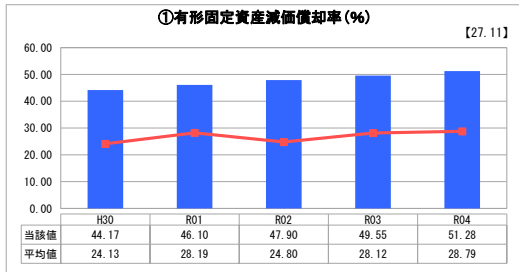
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,578	37.29	390.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,071	3.35	2,110.75

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

処理施設等に係る維持管理費が増加傾向にあり、経常収支比率が悪化していたが、経費削減等の効果により平成28年度以降は改善傾向にあります。今年度については、処理施設延命に要する点検整備や大規模な修繕の発生に加え、電気料金の高騰による動力費の大幅な増額が重なったことから、経費回収率や汚水処理原価等の数値に大きな影響を及ぼしたところですが、類似団体平均に比べると未だ良い水準にあると考えられます。しかしながら、現在の処理施設利用率や水洗化率は他団体と比較しても低い状況にあり、加えて今後の人口減による使用料収入の減少や施設の老朽化等に伴い、各種経営指標が悪化する恐れがあることから、岩木川流域下水道への接続、処理区及び処理施設の統廃合、使用料単価を含めた経営方針の検討、更なる水洗化率の向上等を目指す必要があります。

### 2. 老朽化の状況について

現時点で耐用年数を過ぎた管渠等は存在しないため、更新投資はまだ行っていないが、ある程度の老朽化した管渠が存在することから定期的にカメラ調査等を行っており、それらを踏まえたうえで更新計画を策定し、効率の良い更新を検討していく予定です。

### 全体総括

現時点では経営状況や施設の老朽化等に大きな問題は無いものの、平均と比べても低い状況にある水洗化率を向上させるための啓蒙活動や、適切な使用料徴収、そしてより一層の経費削減等に努める必要があります。加えて今後の経営を安定させるため、適正な料金収入の算定・改定を行い、経営改善を図っていく必要もあると考えます。また、将来の人口減少に伴う使用料収入の減少や処理施設の維持管理費の増加等による経営の逼迫化を避けるため、流域下水道への接続や処理区及び処理施設の統廃合を含めた広域化について検討を行うとともに、老朽化していく管渠の更新を効率的に実施するための下水道ビジョン等の策定や、計画的な経営戦略の見直し・改定を実施していく予定です。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。